

## 高速増殖原型炉もんじゅの2次系放射線イオン化式ナトリウム漏えい検出器（R I D）指示値の欠測による運転上の制限の逸脱からの復帰について

発生日時	平成24年 3月14日（水）10時00分
発生場所	高速増殖炉研究開発センター 高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉補助建物
状況	<p>高速増殖原型炉もんじゅは、低温停止中（A、Cループドレン、Bループポニーモータ運転中）のところ、9時59分、現場にて保守担当課員が2次系Bループ及びメンテナンス冷却系のR I D指示値がスケールダウンしていることを確認しました。このため、中央制御室の総合漏えい監視盤で確認したところ、2次系Bループ及びメンテナンス冷却系のR I Dの指示値が欠測していることを確認したため、10時00分、ナトリウム漏えい監視機能の停止による原子炉施設保安規定第34条に定める運転上の制限の逸脱を宣言しました。</p> <p>その後、中央制御室の総合漏えい監視盤で確認したところ、2次系Bループ及びメンテナンス冷却系のR I Dのシーケンサが9時44分から停止していることを確認しています。</p> <p>なお、R I Dのサンプリングブローは動作していることを確認しており、R I Dの指示値が表示されない状態です。</p> <p>また、10時30分、現場を確認し、ナトリウム漏えいがないことを確認しております。また、セルモニタ、火災感知器及びCLDによるナトリウム漏えいの監視は継続して実施しており、ナトリウム漏えいがないことを合わせて確認しています。</p> <p>13時10分、当該シーケンサを再起動し、2次系Bループ及びメンテナンス冷却系のR I Dの指示値が確認され、ナトリウム漏えい監視機能が回復したことから、13時51分に運転上の制限の逸脱からの復帰を宣言しました。</p>
環境への影響	本事象による環境への影響はありません。
原因	調査中です。
備考	<参考> ・R I D：放射線イオン化式検出器（ガスサンプリング型ナトリウム漏えい検出器） ・CLD：接触型ナトリウム漏えい検出器